

幼児保育学科では、ディプロマ・ポリシーで明記している必要な能力を修得するために、以下の方針で教育課程を編成・実施します。

#### <教育課程編制><学修内容>

##### ○教養科目

「地域を支える次世代を社会に送り出す」という建学の精神を深めることや、自らの人間性を深めたり世界観を広げたりできるようする力を身につける科目として以下の3類型で科目を分類する。

1. 人間性や職業観に関する科目
2. 言語や情報に関する科目
3. 健康と保健体育に関する科目

##### ○専門教育科目

教育理念である「豊かな人間性と確かな技術」を体現する者として、自ら考え、主体的に行動できる保育者を育成するため、理論と実践をバランス良く学ぶことができるように、以下5類型で科目を分類する。また、1年次「基礎ゼミナール」では保育者として主体的に学ぶ姿勢や能動的な実践力を培うためのプログラムを行う。そして2年次の「専門ゼミナール」では、「乳幼児」「地域連携」「障がい児」と3つの専門に分かれ、さらに専門性を深めるプログラム制度を実施する。

1. 保育や幼児教育の目的や子どもを取り巻く社会の現状について学ぶ科目
2. 保育や幼児教育の対象となる子どもと家族について理解を深める科目
3. 保育や幼児教育を実践するための方法や技術を修得する科目
4. 保育や幼児教育をめぐる諸問題について倫理的に考え表現する方法を修得する科目
5. 保育や幼児教育について現場で他者とコミュニケーションをとりながら実践的に学ぶ科目

#### <学習方法・学習過程の在り方>

- ・各授業科目について、シラバスに到達目標、授業計画、成績評価基準・方法、予習・復習、関連学習、ディプロマ・ポリシーとの関連について明記、周知する。
- ・講義・演習・実験・実習・実技指導等、教育目的に適した形式の授業を実施する。
- ・学内外での行事やボランティア活動、地域連携活動等、実践を通じた学びの機会をつくる。
- ・入学年次の履修登録時において、カリキュラムマップ及び成績単位取得表を活用し、学修成果の可視化と取得資格に対する必修科目の紐づけを行うとともに、2年次に向けてキャリア指導を実施する。
- ・学修内容の振り返り(リフレクションシート)の提出、小テスト等の実施を通じて学習時間の確保及び学習行動の改善に向けた取り組みを推進し、教育内容を確実に定着させる。

#### <学修成果の評価の在り方>

- ・GPA 制度を導入し、教育の質保証に向けて点検・評価・改善を行う。
- ・各科目のシラバスに定める評価方法に基づき、厳格な評価を行う。
- ・学生は「履修カルテ」を利用して自己の学修を振り返り、教員は学生の自己評価に基づいて指導する。
- ・学修の集大成として、卒業研究を位置付け、総括的に評価を行う。
- ・ディプロマ・ポリシーの達成に向けて、学生の学修成果の全体を評価する。